



平成 25 年 7 月 1 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ジ ー エ ヌ ア イ グ ル ー プ
代 表 者 名 取 締 役 代 表 執 行 役 社 長 兼 CEO イ ン ・ ル オ
(コード番号:2160 東証マザーズ)
問 合 せ 先 経 営 管 理 部 田 中 忍
(TEL. 03-5326-3097)

子会社（中間持株会社）設立に関する基本合意書締結のお知らせ

当社は、平成25年7月1日付け経営会議にて、中間持株会社を香港に設立し、中国の子会社である天津睿瀛生物科技有限公司（以下、「GEP社」）をその完全子会社（当社の孫会社）とすることに関してイーピーエス株式会社（東証一部上場：4282（以下「EPS社」））と基本合意書を締結することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

当社は、中国で開発中の医薬候補品F351（肝線維症治療薬F351は第1b相臨床試験終了しデータ整理中）をイーピーエス株式会社（東証一部上場：4282（以下「EPS社」））と共同で開発すべく、合弁会社・GEP社を設立し、その開発を進めて参りました。この度、新薬の開発を加速させるために、香港に中間持株会社を設立しGEP社をその完全子会社とすること、並びにGEP社に対して追加出資を行う事を合意致しましたのでお知らせいたします。

1. 新設する子会社（中間持株会社）の概要

当社は65%以上の株式を保有する事を予定しております。その他概要につきましては確定次第、別途開示させていただきます。

2. 今後の予定

肝線維症治療薬F351は第1b相臨床試験を終了し現在データを整理中ですが、当局の許可取得後速やかに第2相臨床試験を開始しEPS社の協力の基にスムーズに開発を進め、中国と日本における事業化を目指して参ります。また、本薬剤候補物をその他適用薬（腎線維症等）として開発を進めて参ります。

当該中国子会社の再編成は、中国に於いてCRO（医薬品開発業務受託機関）を行うEPS社と新薬開発を行う当社にとって相乗効果をもたらすものと考えております。

以上